

令和 3 年度 第 2 回伊那市立図書館協議会 議事録

日時	令和 4 年 2 月 2 4 日（木）午前 1 0 時から午前 1 1 時 1 5 分まで
場所	伊那図書館 1 階視聴覚室
出席者 (敬称略)	【委員】 宮下徳雄、近藤信昭、寺田利男、森田英和、荒恵子 【伊那市教育委員会関係者】 笠原教育長、馬場教育次長、北林生涯学習課長、北原伊那図書館長、丸山高遠町図書館長
議事内容	
1 開会	
2 あいさつ 宮下会長 笠原教育長	
3 協議事項	
(1) 令和 3 年度事業報告について	
事務局	資料 1 頁から 10 の事業報告について、伊那図書館、高遠町図書館それぞれの館長から報告、説明。
会 長	質疑があればお願いしたい。
委 員	ブックスタート事業、人数は減っているのか。
事務局	少しずつ減ってきています。
(2) 令和 4 年度主要事業について	
事務局	資料 11 頁について、伊那図書館長から説明。
会 長	質疑があればお願いしたい。
委 員	市町村と県による協働電子図書館事業について、ターゲットは？ 小学生は一人 1 台タブレットを貸与されてデジタル環境は整っている。図書館に来館することのできない体の不自由な人もいる。そういった皆さんに絞ることは考えていないか？
事務局	この事業について、後ほど詳しく説明をしますがターゲットについて現在は絞ることは考えていません。県が主導し市町村が協力して行う事業であるため、全県民が事業対象者になります。
(3) その他	
委 員	コロナ禍を通して、パソコン、タブレットを使ってできることが分かってきたと思う。図書館は本の貸し出しだけではなく、情報発信をすることも重要。今までの市立図書館の方針を、アフターコロナを意識しながら取り組むと、利用者の受けも変わるのではないか。
会 長	貴重な意見をありがとうございます。事務局でしっかり受け止めて図書館運営に活かしていただきたいと思います。
4 その他	
事務局	市町村と県による協働電子図書館事業について資料に沿って説明

課 長	質疑があればお願いします。
委 員	電子図書について、紙の本に入れ替わるようなことにならないようにして欲しい。電子図서가、紙の本への入口となるようなものになって欲しい。紙の方が、人の目にとっても良いので、紙の本の利用を促すようなことをして欲しい。
事務局	県の事業説明を聞く限り、電子図서가紙の本から置き換わるようなことはなく、紙と電子の両方のメリットを生かしてハイブリッドな図書館を目指すことが掲げられています。 伊那市も電子図서에置き換わることは考えておらず、県の方針に則って運用することを考えています。 電子図書の気軽さをPRして紙の本に引き込めるようなことを検討したいと思います。
5 閉会	